

Q. あいあいバスの利用状況と今後の方針は？

A. 利用者は少しずつであるが年々減少し、特に日曜日の運行は空状態で走るほど利用率が低い。21年度から日曜日に限り利用者の要望のあったときのみ運行する「デマンド型乗り合いタクシー」に移行し、効率的な運行を確保したい。

意見

経費節減のみを考え、住民サービスの低下を招かないような運行をしていただきたい。

(企画総務常任委員会より)

Q. 河内川ダムを水源地として利用する計画について、市はどのように考えているのか？

A. 水道事業の第3期拡張計画の中で、河内川ダムの水利権を受け、北川の水を浄水場の水源地に使う計画で進んでいる。

それまでに浄水場建設に50億～60億円の投資が必要であり、財政上すぐに着手はできないが、同計画の最終目標では、松永・宮川・国富・内外海(矢代・志積)を統合することや、今後の気象の変化などにより、地下水位の変動による取水能力の低下の恐れがあるなど、将来に安定した供給ができないための対策としてダムの水が必要である。

また、地下水の汚染にも対応できるなど、水源施設の多様化を目的として取り組んでいる。

(まちづくり常任委員会より)

Q. 第5次小浜市総合計画の策定はどのように進めるのか？

A. 庁内組織でヒアリングを行い、市民アンケートなど市民の声も一緒に検討の中に取り入れていきたい。

意見

人口の推移や市財政の長期展望を踏まえながら、短期、長期に取り組む部分を見極め、まちづくりを計画的、効率的に推進できるようしっかり取り組んでいただきたい。

(企画総務常任委員会より)

3月定例会での 主な質疑

Q. 第4期の介護保険計画では、県下トップの介護保険料となったが、3年後の第5期の介護保険料の見通しはどうか？

A. 第4期の介護保険事業の取り組みの中で、健康づくり、介護予防の推進、地域ケアの推進、介護給付費の適正化等に重点的に取り組んでいき、3年後に策定する第5期の介護保険料は、少なくとも現状維持をしていきたい。

(民生文教常任委員会より)

Q. この度完成する四季菜館の事業内容と、同じ幹線沿いのJA若狭の農産物直売所との連携についてどう考えているのか？

A. 四季菜館は農産物の加工体験を主とした運営を考えている。一部、朝市を実施する予定であるが、JAの直売所と直接競合することはないと思っている。

今後、道の駅が整備されれば、物産販売にJAも参画していただき、互いに相乗効果が生まれるようにしていきたいと考えている。

(まちづくり常任委員会より)

Q. 本市の医療費・介護保険料が右肩上がりとなる中、健康増進事業や予防健診事業のあり方をどう考えるのか？

A. 各部、各課で市民の健康増進につながる事業を実施しているが、現時点では点としての事業であり、有機的な連携は取れていない。全庁のみならず、公立小浜病院とも連携して、予防医療、健康寿命の延伸に向けた取り組みができないか、検討してまいりたい。健診の受診率にも行政区別によりかなり差があるため、今後は区長会や公民館でのPRに力を入れたい。

(民生文教常任委員会より)

つばき回廊問題特別委員会報告

●つばき回廊問題特別委員会を解散

つばき回廊商業棟（以下「商業棟」）は、本市の中心市街地の活性化には欠かせない場所でもあり、今後のまちづくりに大きく影響を与えることから、平成19年12月定例会に「つばき回廊問題特別委員会」を設置し、様々な角度から研究を重ねてまいりました。

そうした中、平成20年12月に解体を前提として商業棟を取得する補正予算を可決し、また、平成21年3月定例会に、商業棟の解体予算も可決、成立したことを受け、同委員会の設置目的を達成したとする委員長の報告をもって調査を終了し、解散いたしました。

●最大の課題は

「税金を投入しない」
「幽霊ビル化にしない」

委員会においてもこの課題のクリアに向け、商業棟のリニューアル案から解体・更地化を含めて、地元経済界など関係者の出席も求める中で、

あらゆるパターンの解決策について研究を重ねてまいりました。

●業務棟売却費を解体費用へ

最終的には、民間の金融機関へ市立図書館などが入居しているつばき回廊業務棟（以下「業務棟」）を売却した収入を、商業棟の解体・更地化の費用に充てることとし、それらの予算を21年度当初予算に盛り込み、前述のとおり予算を可決したことで一応の区切りがつかしました。

●そして第2ステージへ

つばき回廊問題は、議論中心から商業棟の解体、同地の再整備と、ハード的な取り組みに入ります。

早急な対応を求められた課題をクリアした今、議会としては、同地の利活用について拙速に結論を出さず、市民の合意を得ながら、十分議論を進めていくよう求めてまいります。



21年度中の解体が決定したつばき回廊商業棟

つばき回廊商業棟の解体スケジュール（予定）

- 21年4～7月 設計・準備
- 7～3月 建物解体
- 22年4月～ 更地整備

中心市街地活性化計画認定までのスケジュール（予定）

- 21年4月 改定作業開始
- 10月 国・関係機関調整
- 1月 認定申請
- 22年4～7月 認定

編集後記

今号から色合いと構成を少し変えました。スページの都合で本文には掲載できませんでしたが、当委員会は2月に先進地視察として、全国町村議会だよりコンテストに連続入賞している愛知県幸田町議会へ行ってきました。研修では「もつと皆さんに読んでもらえるものへ」という視点から、色合いやレイアウト、記事の内容等に対してかなり厳しい指摘もいただきましたが、お互いによりよい紙面づくりについて意見交換を行ってまいりました。

今号で私たちが編集する最後の議会だよりとなりましたが、もつと皆さんに読んでもらえる紙面づくりを目指して、次のメンバーにも視察で受けた強い刺激を伝えていきます。

- 〈広報委員会〉
- 委員長 藤田 善平
 - 副委員長 石野 保
 - 委員 小堂 清之
 - 井上 万治郎
 - 三木 尚
 - 能登 恵子

ケータイで議会情報をGet!!



携帯電話から議会情報が見られます。

